



第
44
号

発行日：2018年12月1日
 発行：特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
 (大津市地球温暖化防止活動推進センター)
 住所：〒520-0047 大津市浜大津四丁目1番1号 明日都浜大津4階
 電話：077(526)7545 / FAX：077(526)7581
 フォーラムHP：http://eco-otsu.net
 Eメール(事務所)：forum@eco-otsu.net

＜事務局長から＞ 師走を迎えました。7月よりフォーラム事務局長の重責をお預かりして半年、未熟な私を支えていただき誠に有難うございました。「大津市センター」次期指定公募に向け、1期3年を振り返り、如何に事業計画を組むか、フォーラムの真価を問われる頃となりました。次年度に向け、メンバーの英知を結集し一致団結して活動を前進させていきましょう。よろしく願いいたします。

会員数 159名 (2018年11月末現在)

トピックス

○「環境情報合同交流会」を開催しました

11月3日、ピアザ淡海において、SDGsの視点で環境を考える「2018 大津市環境情報合同交流会」を開催しました。はじめに、大津市環境部環境政策課長 須佐美雅幸氏のあいさつの後、認定NPO法人環境市民代表 枚本 育生 氏(写真左)による基調講演がありました。温暖化による異常気象、パーム油生産のため消失してゆく広大な熱帯雨林、開封されることなく廃棄される食品、児童労働に頼る被服産業など持続可能な発展を阻害する現状と、これに対して芽生え始めた地域や企業のSDGsの取り組みが紹介されました。



休憩の後、「環境と持続可能な経済発展を地域から」(案内人 大阪ガス株式会社滋賀地区副支配人 嶽釜信一氏)、「食品など資源をみんなで活用する社会づくり」(案内人 おごと温泉観光協会副会長 佐藤祐子氏)、「びわ湖を守り、活かす」(案内人 滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課主幹 清水宏孝氏)、「気候変動防止のための低炭素社会づくり」(案内人 大津市環境部環境政策課主査 岡田ふく子氏)の4班に分かれディスカッションしました。ディスカッション内容は、それぞれの案内人から参加者全員に披露され、最後にフォーラムの笠理事長が締めくくりました。

○自然家族事業「里の日②」を開催しました

10月20日、大將軍2丁目の畑で自然家族事業「里の日」第2回を開催し、11家族38人が参加されました。

朝の内、ポツポツ降っていた雨は準備している間に上がり、まずまずの収穫日和になりました。あいさつと説明の後、各家族は自分たちが植えつけたサツマイモを収穫しました。7月中旬からほとんど雨が降らなかったため、根が横には伸びず、水を求めて土中深く入り込み掘り出すのが大変でした。



夏の間スタッフが水やりを行いました。日照りの影響は大きく、大きな芋が育った株がある一方でほとんど育っていない株もありました。収穫の後にはスタッフが朝から準備した焼き芋とカレーライスの昼食です。焚き火で焼いた焼き芋はおいしい。カレーも次々お代わり。収穫したサツマイモも持ち帰り、皆さん大満足でした。

○「おおつ健康フェスティバル」に出展しました

10月21日、明日都浜大津全館とガス燈広場で開催された2018 おおつ健康フェスティバルに出展し、「家庭の省エネ簡易診断」「茶殻入りホットケーキ」「旬の食べ物」「地産地消のすすめ」などの啓発事業を実施しました。



省エネ簡易診断コーナーでは、簡単なアンケートに答えていただいた35人のエコライフ健康度を診断しました。また、白熱電球・蛍光灯とLEDは、同じ明るさでも消費電力が格段に違うことを実際に計測し、確認していただきました。

食のコーナーでは、栄養素の過半が残る茶殻を有効利用したホットケーキの試食を行い、生活習慣病予防とごみ減量をPRしました。良い匂いに誘われてかホットケーキは焼いたそばからすぐなくなりました。また、ヒーターで育てられ旬の時期から外れたハウス栽培野菜や、遠くから多くの燃料を使って運ばれてきた食材を食べることで、知らず知らずのうちにエネルギーを浪費していることなどを、パネルも使ってPRしました。

○「おおつ環境未来人」育成講座が始まりました

地球環境の現実を見つめ未来の環境を守る人を育てる個別募集型連続講座「おおつ環境未来人」育成講座を開講しました。1月26日までに全9講座開催します。

【講座1】環境問題概論「公害問題から地球環境問題へ」

10月27日にふれあいプラザで開催し、20人が参加。講師はおおつ環境フォーラム理事長 竺文彦龍谷大学名誉教授。

まず、足尾鉍毒から水俣病、四日市ぜんそくなどの公害問題を振り返りました。滋賀県では、琵琶湖の赤潮問題から石けん運動が occurred。琵琶湖の水質は徐々に改善され、現在は外来魚、水草問題に関心が移っています。公害問題は限定された地域の汚染が原因でその地域に住んでいる人が被害者になっていますが、現在の地球環境問題は、原因、加害者、被害者が分かりにくく、それがこの問題の難しさにつながっているとのことでした。また、森林資源をエネルギー源として消費させた文明は減ってきたのが歴史です。化石燃料から再生可能エネルギーへの転換は必至です。最後に先生がしたいこと「小水力発電」「自然な川の再生」「生ごみを活用」が紹介されました。



【講座2】エコツーリズム「気象条件が魚に与える影響」

10月31日に彦根市の滋賀県水産試験場で開催し、9人が参加されました。当初予定のピワマス産卵場が台風21号被害で実施できなくなり、行き先、内容を変更しての開催です。

まず、会議室で水産試験場主任専門委員 酒井明久氏による講話です。水産試験場の仕事、琵琶湖の水質と魚、地球温暖化が魚に及ぼす影響、ピワマス・アユ・イサザの生活史や子魚の生残率など、そしておいしい湖魚レシピを教えてくださいました。次に、構内の船溜まりに係留中の調査船「琵琶湖丸」にて調査機器を説明していただきました。再び研究室へ移動し、アユの耳石を電子顕微鏡で見せていただきました。耳石には1日ごとに増える木の年輪のような縞模様があり、これを観察すればアユの成長が分かります。これからの漁業を考えるために重要な手段です。



「地域発の再エネ拡大戦略を学ぶ」受講者募集

日時場所：12月9日(土)13:30~15:30 明日都浜大津
 講師：福井県地球温暖化防止活動推進センター長 吉川守秋氏
 こなんウルトラパワー株式会社代表取締役 芦刈義孝氏
 おおつ環境フォーラムエネルギーPJリーダー 山和孝氏
 定員：30人 参加費：無料
 ★詳しくは <http://otsu.ondanka.net/?p=1964#content>

「おおつ環境未来人」育成講座⑦ 受講者募集

『地球温暖化の影響にどう適応するか』
 日時場所：12月15日(土)13:30~15:30 明日都浜大津
 講師：おおつ環境フォーラム副理事長 林幹朗氏
 内容：地球温暖化の影響は出ているか 今私たちはどのように備えるか 気候変動の地元学
 ★詳しくは <http://otsu.ondanka.net/?p=1873#content>

■これからのフォーラム活動

プロジェクト等の名称	日時	場所・内容
プロジェクト・学習研究グループ		
生ごみリサイクル	12月21日(金) 9:30	市民活動センター//EMボカシづくり
ビオトープづくり	12月9日(日) 9:00	北大路どろんことーぶ//補修整備
里山保全	12月3日(月) 10:00	春日山公園//定例会
	12月17日(月) 10:00	春日山公園//定例会
	1月7日(月) 10:00	春日山公園//定例会
エネルギー	12月4日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
	1月8日(火) 10:00	大津市センター//定例会議
委員会・実行チーム・事業部		
経営委員会	12月11日(火) 13:30	大津市センター//会議
地球温暖化防止事業実行チーム	12月8日(土) 10:30	ピアザ淡海//「三方よしエコフェア」出展
	12月15日(土) 13:30	ふれあいプラザ//「おおつ環境未来人」育成講座⑦
自然家族事業実行チーム	12月11日(火) 10:00	大津市センター//会議
地球温暖化防止対策事例集作成チーム	12月4日(火) 13:00	大津市センター//原稿の読み合わせ
里湖づくり事業実行チーム	12月10日(月) 9:30	柳ヶ崎湖岸//湖底耕耘
	1月9日(水) 9:30	琵琶湖環境科学研究センター//調査活動
事業部 KES 普及推進グループ	12月27日(木) 13:30	ふれあいプラザ//普及推進グループ定例会議

*大津市センター；大津市地球温暖化防止活動推進センター（明日都浜大津 4F）